

【単年度事業評価様式】

南区地域子育て支援拠点事業
令和5年度重点目標評価結果・令和6年度重点目標

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(2年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人さくらザウルス
	南区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生き育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 南区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わるることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和5年度重点目標の評価

令和5年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域ぐるみの支え合いによる「横浜子育てサポートシステム」の良さを伝えて会員増加を図るとともに、会員が安心して援助活動できる環境を作ります。 ② 子育てにおける「つながり」「ふれあい」の大切さが、拠点利用者や地域関係者に伝わるよう、ひとつひとつのプログラムや行事を丁寧に実施し、またニーズに合った情報発信を行います。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 横浜子育てサポートシステムの新事業の開始に向け、とりわけ提供・両方会員の負担を軽減できるよう出来るだけの準備を行います。関係機関のご協力をいただきながら、あらゆる場面での会員増加の呼びかけを行います。 ② ひとつひとつのプログラム・行事について、その目的を再確認しながら企画を立てるとともに、しっかりと振り返りを行って、より効果的な内容になるよう、ブラッシュアップしながら進めていきます。

取組の成果	<p>① 新事業による変更点を伝え手続き方法を習得していただくための説明会を2回開催して、提供・両方会員が戸惑うことなく活動できるようサポートしました。援助依頼が大幅に増えたので提供・両方会員との接点も多くなりましたが、より丁寧な対応を心がけたことで会員との信頼関係は高まったと感じています。休眠状態だった会員にも積極的に声をかけて活動を再開していただくきっかけにもなりました。</p> <p>② 「0歳児はじめましての会」を月2回に増やしたことで、はぐはぐの樹の初回利用を促進することが出来ました。「はぐミーティング」に参加した利用者の発案で開催した「きょうだい育ての話をしましょ!」では、プログラム終了後も参加者同士で話が続いていました。妊娠期からの支援として取り組んでいる「プレママ会」はすべての開催日をよりニーズの高い土曜日に変更し、参加者が増えました。また、先輩ママパパから体験談を聞くことにより産後の生活のイメージが持てたと参加者から好評でした。</p> <p>2回開催した「南区子育てもっとネット会議」では久しぶりに全体で集合する形を取ったことを活かし、出席者同士が話したいテーマごとにグループを作ったり、なるべく長く話し合いができるよう時間割を組んだり、交流・情報交換を促す工夫をして、大変好評でした。</p> <p>インスタグラムはフォロワーが1200人を超え、新たな情報発信ツールとして定着しています。</p>
取組の課題	<p>① 新事業により利用のハードルが下がり、これまで援助に至らなかった利用会員からの依頼が大幅に増えたことから、提供・両方会員の負担が大きくなっています。コーディネートが成立しないケースも増えてきました。様々なところで周知を行いました。提供・両方会員は不足している状態です。</p> <p>② 「0歳児はじめましての会」ではプログラム終了後に一部の参加者が連絡先を交換する姿が見られましたが、全体的には利用者同士が「つながる」ところまでたどり着けておらず、さらに工夫が必要です。</p>

次年度重点目標

令和6年度 重点目標	<p>① 地域ぐるみの支え合いによる「横浜子育てサポートシステム」の良さを伝えて会員増加を図るとともに、会員が安心して援助活動できる環境を作ります。</p> <p>② 子育てにおける「つながり」「ふれあい」の大切さが、拠点利用者や地域関係者に伝わるよう、ひとつひとつのプログラムや行事を丁寧に実施し、またニーズに合った情報発信を行います。</p>
取組内容	<p>① 提供・両方会員の増加に向け、関係機関の協力を仰ぎながら、あらゆる場面での呼びかけを行います。また会員の口コミによる新会員の獲得も有効な手段の一つとして推進していきます。</p> <p>提供・両方会員予定者研修会の新たな形態での本格実施にあたり、しっかりとしたサポート体制を取っていきます。</p> <p>② ひとつひとつのプログラム・行事について、その目的を再確認しながら企画を立てるとともに、しっかりと振り返りを行って、より効果的な内容になるよう、ブラッシュアップしながら進めていきます。参加者同士がつながりやすくなるように、少人数で話す場を作る、帰り道が一緒になるような声掛けなど、きめ細かい工夫を重ねていきます。</p>